

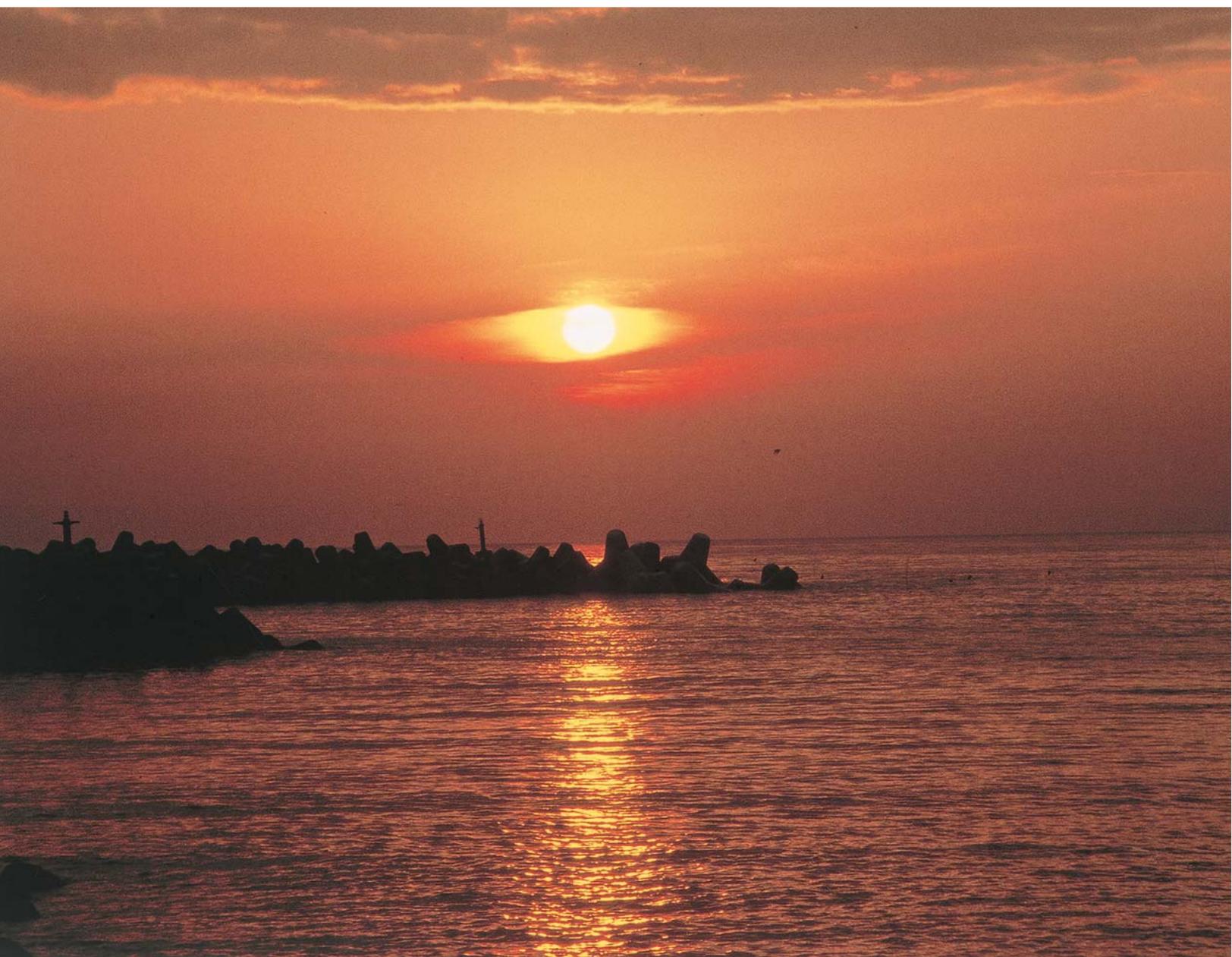
なみえの未来をともにつくります

 **なみえ**

# 議会だより

2009.2.1

No. **123**



## 12月定例会

12月定例議会	……………P 2～7
一般質問 10人が登壇	……………P 8～13
特集シリーズ	……………P14
町民の声	……………P16



## 議員発議 の決議

○浪江町議会議員定数  
調査特別委員会設置  
に関する決議

次のおり浪江町議会議  
員定数調査特別委員会を設  
置するものとする。

1、名称

浪江町議会議員定数調査  
特別委員会

2、設置の根拠

地方自治法第110条及  
び浪江町議会議員定数調査  
第5条

3、目的

議会議員定数調査につい  
ての調査のため

4、委員の定数 20名

〔提出者〕

浪江町議会議員  
佐々木恵寿 外6名

## 条例の改正

○職員の勤務時間、休  
暇等に関する条例の  
一部改正について

株式会社日本政策金融公  
庫法の施行に伴ない、町条  
例の文言が一部改正されま  
した。(全会一致で可決)

○浪江町手数料徴収条  
例の一部改正について

「オウム真理教犯罪被害者  
等を救済するための給付金  
の支給に関する法律」が施行  
されることに伴い、犯罪被  
害者等に対する戸籍事項証  
明の手数料を免除すること  
になりました。  
(全会一致で可決)

○浪江町税条例の一部  
を改正する条例の一  
部改正について

都道府県又は市町村の条  
例により、指定した寄附金  
が税額控除の対象となりま  
した。(全会一致で可決)

○浪江町国民健康保険  
条例の一部改正につ  
いて

産科医療補償制度の導入  
により、健康保険法施行令  
の一部を改正することに伴  
い、所要の改正が行われま  
した。(全会一致で可決)

【質問】国民健康保険条  
例の改正により、出産育児

一時金が3万円アップさ  
れ、38万円となりますが、  
それは妊婦の方に直接支払  
いされるのか。

【保険福祉課長】妊婦の方  
に直接支払いはされません。

3万円アップ分は保険の掛  
金として頂いて、重度の脳  
性麻痺の方にお支払いする  
保険料にするということ  
です。





津島保育所

- 平成20年第6回浪江町議会定例会が12月9日から17日までの9日間の会期で開催され、一般質問は10人が登壇して活発な質疑が交わされました。
- 今議会に提案された議案は、浪江町税条例の一部を改正する条例の一部改正、平成20年度浪江町一般会計補正予算など13の議案、諮問1件、議員発議による意見書6件・決議1件等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
- 請願・陳情では、請願書1件（採択）・陳情書5件（採択）を審議しました。

## 補正予算

○平成20年度浪江町一般会計補正予算（第4号）

町税1500万円の減、国県支出金5626万円等により38万円を減額し、総額を72億5200万円としました。歳出の主なものは

民生費3665万円の増、衛生費2480万円の減、農林水産費3218万円の減等です。（賛成多数で可決）

**質問** アメリカ発の経済危機が雇用問題に波及しないか、派遣社員の解雇はないかお尋ねします。

**産業振興課長** 現在のところ雇止めはないようです。今後厳しい状況が心配されます。雇用の確保については各企業にお願いして

まいります。  
**質問** 高速道推進事業費の計上額は8300万円になりますが、今後当町としてどの位の事業負担になるのか、今後の見通しも含めてお尋ねします。

## 討論

**反対討論**

老人医療給付事業費で638万円の後期高齢者医療特別会計に繰出し金が計上されている。後期高齢者医

**質問** 悪化する緊急経済対策との関係で、町長は、補正予算をどのように計上されたのか。

**町長** 12月12日に浪江町緊急経済雇用生活支援総合対策本部を立ち上げました。今、情報を収集しております。今後情報の結果により対策を打っていきたいと考えております。

療制度は悪評の高い制度であります。この制度に関する問題は深刻な問題であります。よって反対致します。



○平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

基金から2000万円繰入、保険給付費に2160万円を追加し、総額を22億4896万円としました。(賛成多数で可決)

## 討 論

### 反対討論

国保特別会計補正予算は2180万円の補正であります。子供世帯に対する短期保険証、資格証明の発行

が明らかになりました。これは社会的、政治的に大きな問題であり、改善されていない現状に警鐘を発して反対討論とします。

○平成20年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)  
 医業費に181万追加し、総額を1億1770万円としました。(全会一致で可決)

○平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)  
 保険給付費内の組換えにより、介護サービス等諸費310万円を追加しました。(全会一致で可決)

○平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)  
 諸収入620万円を追加したことにより、町債を同額減額しました。(全会一致で可決)

○平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
 保険料3432万円の減額、一般会計繰入金638万円の追加により、広域連合納付金2793万円の減額としました。(賛成多数で可決)

○平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第4号)

収益的支出を319万円増額し、総額を3億841万円としました。(全会一致で可決)

### 質 問

小高区に対する用水供給事業計画を資源調査、水資源調査計画も含めて20年度に完了するという

課長の答弁がありました。補正予算に計上されていません。現状と今後の見通しについてお尋ねいたします。  
**上下水道課長** 9月の補正で調査費は計上してあります。今現在は、準備の段階に入っているところです。開始の見通しですが、水源の能力の余剰性があれば小高区と協議していきます。

## 人

◆教育委員会委員の任命について  
 佐々木保彦氏の任期満了に伴い、同氏を再任することに全会一致で同意しました。

○佐々木 保彦さん  
 (昼曾根)

◆監査委員の選任について  
 森藤紀次氏の辞任に伴い、後任の委員とすることに全会一致で同意しました。

○山内 清隆さん  
 (権現堂)

## 事

◆人権擁護委員の推薦  
 につき意見を求めることについて  
 法務大臣委嘱の人権擁護委員に、全会一致で適任者として推薦しました。

○林 心澄さん  
 (小野田)



# 浪江町議会独自の意見書

## ○ 大堀幼稚園、苅野幼稚園の預り保育に関する意見書

### ● 内容

大堀幼稚園の平成20年度入園児は6名、今後の就園率を高めるには、預り保育の実施が望まれております。

現在、大堀小学校の入学該当者が約20名の中で、幼稚園就園児が6名である要因は、幼稚園が午前中で終了することに起因し、保護者の勤務の関係上、夕方まで預かってくれる保育所や幼稚園の就園を選択せざるを得ない状況にあります。

つきましては、大堀幼稚園に預り保育制度が実施されれば、就園率が向上するものと考えられます。苅野幼稚園においても、同様の事情にあると推察されます。

預り保育が実現されれば、保護者の子育て環境が改善され、次世代を担う子ども達の教育に絶大なる効果をもたらすものと考えます。

大堀幼稚園、苅野幼稚園の保育時間延長の件は、地域の方々の強い要望事案であります。

預り保育の実施を、速やかに実現されるように強く要望します。

### [提出先]

浪江町長  
浪江町教育委員会教育長

## ○ 産科医療補償制度の改善に関する意見書

### ● 内容

産科医療補償制度は、分娩時の事故で子どもが脳性麻痺となった場合に補償する制度で、平成21年1月1日実施の予定であります。

これまで、わが国には医療事故の被害者を救済する公的制度がなく、長い期間裁判をたたかわないと補償がなされないという状況でした。同時に来年1月からスタートする制度にはさまざまな問題点があり、その改善が強く求められております。

以下の事項について、浪江町議会として国に改善を強く求めるものであります。

- 1、産科医療保障制度は脳性麻痺以外の妊婦医療事故に対象を広げること。
- 2、基金の運営は民間保険会社に丸投げするのではなく、国の責任で「無過失補償制度」を整備すること。
- 3、掛金、補償金額を適正なものに再検討すること。

### [提出先]

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
総務大臣

## 議員発議の意見書

### ○ 「汚染米」の食用への

転用事件の全容解明  
と外米（ミニマムア  
クセス米）の輸入中  
止を求める意見書

### [提出先]

内閣総理大臣  
農林水産大臣

### ○ 国による公的森林整

備の推進と国有林野  
事業の健全化を求め  
る意見書

### [提出先]

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
外務大臣  
経済産業大臣  
環境大臣  
農林水産大臣  
林野庁長官

### ○ 現行保育制度の堅

持・拡充と保育・学  
童保育・子育て支援  
予算の大幅増額を求  
める意見書

### [提出先]

内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣  
少子化対策担当大臣

### ○ 介護労働者の処遇改

善をはじめ介護保険  
制度の抜本的改善を  
求める意見書

### [提出先]

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
総務大臣

# 議員発議の動議

## ○議員鈴木辰行君に対する懲罰動議

(賛成多数で可決)

### ●動議提出の理由(要旨)

町議会議員定数調査特別委員会設置に関する議員発議の質疑のなかで「無記名投票による表決権行使に関する重大な侵害」の発言を行った。

### ●懲罰特別委員会の設置

鈴木辰行議員の発言は議会制民主主義と議会の品位と権威を著しく傷つけた。これは、懲罰に値するものであり、本特別委員会を設置する。

### ●懲罰特別委員会の結論

公開の議場における陳謝文の朗読  
(地方自治法第135条第1項による決定)

## ○鈴木辰行議員の辞職勧告決議に関する決議案

(賛成多数で可決)

### ●動議提出の理由(要旨)

懲罰特別委員会の決定及び本会議議決により懲罰を受けたが、その際の弁明において、弁明とは認められない発言があった。また、平成19年第4回定例会において、議員本人のことに付いて一般質問を行った。

この行為は議場の秩序維持(地方自治法第129条)と品位保持(同法第132条)、浪江町議会会議規則第61条(一般質問)に抵触したものである。

よって、浪江町議会は議会の権威と品位保持、議員の職責に鑑み議員辞職を勧告する。

浪江町議会

## 議員辞職

鈴木辰行議員より、平成21年1月19日に「辞職願」が提出され、1月23日に議長より許可されました。

## 皆さんから提出された請願・陳情

### 〔採択された請願〕

○「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米(ミニマムアクセス米)の輸入中止を求める請願  
(賛成多数で可決)

〔請願者〕  
福島県浜通り農民運動連合会 会長 杉 和昌

### 〔採択された陳情〕

○現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書  
(全会一致で可決)

〔陳情者〕  
福島県保育連絡会  
世話人代表 大宮 勇雄

○国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情について  
(全会一致で可決)

〔陳情者〕  
相双民主商工会  
会長 紺野 重秋

〔陳情者〕  
森林労連全国林野関連労働組合磐城分会  
執行委員長 佐藤 晴夫

○町道拡幅工事に関する陳情書  
(全会一致で可決)

〔陳情者〕  
立野上行政区長 板倉 功

○重度心身障害者医療費助成制度の改善を求める陳情  
(全会一致で可決)

〔陳情者〕  
福島県民主医療機関連合会 会長 松本 純

相双民主商工会 会長 紺野 重秋

○介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の抜本的改善を求める国への意見書提出する陳情書  
(全会一致で可決)

〔陳情者〕  
福島県民主医療機関連合会 会長 松本 純

相双民主商工会 会長 紺野 重秋

# 第6回 定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第103号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第104号	浪江町手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第105号	浪江町税条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第106号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第107号	平成20年度浪江町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第108号	平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第109号	平成20年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第110号	平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第111号	平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第112号	平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第113号	平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第114号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第115号	監査委員の選任について	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
請願第5号	「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米(「ミニマムアセス米」)の輸入中止を求める請願	採択
陳情第12号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書	採択
陳情第13号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情について	採択

議案番号	件名	議決結果
陳情第15号	町道拡幅工事に関する陳情書	採択
陳情第16号	重度心身障害者医療費助成制度の改善を求める陳情	採択
陳情第17号	介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の抜本的改善を求める国への意見書を提出する陳情書	採択
発議第20号	浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議(案)	原案可決
発議第21号	「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米(「ミニマムアセス米」)の輸入中止を求める意見書(案)	原案可決
発議第22号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書(案)	原案可決
発議第23号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書(案)	原案可決
発議第24号	介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の抜本的改善を求める意見書(案)	原案可決
発議第25号	産科医療補償制度の改善に関する意見書(案)	原案可決
発議第26号	大堀幼稚園、苅野幼稚園の預り保育に関する意見書(案)	原案可決
追加第1号	議員鈴木辰行君に対する懲罰動議	原案可決
追加第2号	議員鈴木辰行君に対する懲罰の件	原案可決
発議第27号	鈴木辰行議員の辞職勧告決議に関する決議案	原案可決

## 10 議員が質問

### ■ 橋爪光雄議員

- (1) 食育・食の安全について
- (2) 救急医療体制・生命確保について
- (3) 交通事故防止について

### ■ 紺野榮重議員

- (1) まちづくり意見交換会の件
- (2) 健全財政の件
- (3) 雇用促進住宅の件
- (4) 河川ゴミ不法投棄の件

### ■ 佐藤一男議員

- (1) 文化施設（センター）等の建設について伺う
- (2) 税外収入の取り組みについて町としての方策はあるのか伺いたい
- (3) 景気対策は農業にあり、行政としての農業支援策はあるのか伺いたい
- (4) 行政と民間による協議会や委員会の選任について伺う
- (5) 行政の意識改革とプロパー育成について伺う
- (6) 教育行政について伺う

### ■ 山本孝一議員

- (1) 国道114号室原字町地内の歩道設置について
- (2) 北部衛生センター埋立地について
- (3) 町道にはみだしている管理について

### ■ 田尻良作議員

- (1) 農業政策について
- (2) 行政について

### ■ 佐々木英夫議員

- (1) 老後、安心して暮せる町づくりについて
- (2) 教育長の学校教育方針について伺いたい
- (3) 芸術文化に対する施設と設備について理解を深めては
- (4) テーマパークピカチュウ公園計画について
- (5) 体育館新設について

### ■ 小黒敬三議員

- (1) 9月議会定例会に答弁を頂いたPFI事業を導入した「管理型浄化槽整備事業」の進捗状況は
- (2) 権現堂区と上の原区の行政区の再編になぜ取り組まないのか

### ■ 佐藤文子議員

- (1) 浪江町観光協会のあり方について
- (2) 福祉バス運行について
- (3) 不在土地の管理について

### ■ 馬場績議員

- (1) 町民の暮らしを守る緊急経済対策について
- (2) 浪江ハローワークの存続について
- (3) 国保証取上げは止めるべき
- (4) 教育行政について
- (5) 地デジ移行の問題について
- (6) 公的保育の拡充について

### ■ 吉田数博議員

- (1) 双葉地方広域市町村圏組合の運営について
- (2) 浪江町表彰条例について

# 町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承ください。



存続が心配される雇用促進住宅



橋爪 光雄 議員

「地産地消」の推進

**質問** 全国で発生した輸入食品事故、事故米を含め、食の不安を町民が受けたことに対して、行政はどのような安全対策の取り組みをしたのか。

**町長** 食の安全・安心の確保のためには消費者、

Q 運転免許返納支援制度の導入計画は

A 関係団体と連携を図り積極的に取り組みます

事業者、行政それぞれが主体的に責任ある行動をして、お互いに協働してさまざまな取り組みを進めていきます。

救急医療体制の整備

**質問** 福島県のドクターヘリが今年1月28日か



紺野 榮重 議員

Q 健全財政（実質公債費比率18%）の目標年度を問う

A 平成27年度までに18%以下にすることを目標とします

**質問** 広報での説明不足（単年度赤字が記載されていない）の周知の件。

**総務課長** 「単年度収支」については次回公表の際には検討します。

**質問** 福島県の中での浪江町の財政状況は。

**総務課長** 実質公債費比率は県内43位、郡内で7位

交通弱者を守れ

**質問** 運転に不安を感じている高齢者の免許証の自主返納を促す支援制度が各地で広がっています。当町の運転免許返納支援制度の取り組み実態は。

**住民生活課長** 浪江地区交通安全協会、浪江町商工会等に実施に向けて働きかけをします。

**質問** 幼児用ヘルメット購入助成制度の導入計画は、

れています。

**住民生活課長** 助成するか、交通安全対策費として総合的に取り組んでいくのか今後検討します。

**質問** 信号機がない交差点での死亡事故、ガードレールが設置されていない場所での車の転落事故が発生している。信号機、ガードレール設置計画は。

**住民生活課長** 信号機設置については、地区からの要望を受けて浪江警察署に提出、浪江警察署が福島県公安委員会に進達し、公安委員会が検討して設置の可

対応したいと思います。

**町長** 譲渡を受けるか受けたくないか結論には達しておりませんが、既存の公営住宅の改修問題と併せ早急に検討します。

雇用促進住宅はどうなる

**質問** 町としての対応は。

**総務課長** 廃止した場合、町からの人口流失が心配されるので今後検討して

河川ゴミの投棄問題

**質問** 町としての対策は。

**住民生活課長** 町では年2回のクリーンナップ作戦を実施、小中学生の海岸清掃、環境監視委員10名で監視しております。

否を決定します。  
**建設課長** ガードレール設置については、危険な箇所を順次改善を行っていきます。



早急にガードレールの設置を（川添小丸田地内）

**質問** 広域圏の負担と浪江町の負担はどれ程度ですか？

**住民生活課長** 広域圏全体で7億5400万円、浪江町として2億1400万円です。



北部衛生センター最終処分場汚水処理施設

**質問** 常磐道開通で約6千台の車両の往来が予測され、非常に危険な状況になります。室原地内の歩道設置と交差点改良の進捗状況を示せ。

**建設課長** ご指摘のとおり非常に危険な状況にあり、安全安心確保のため交差点改良と歩道設置を県に



山本 孝一 議員

**質問** 常磐道開通で約6千台の車両の往来が予測され、非常に危険な状況になります。室原地内の歩道設置と交差点改良の進捗状況を示せ。

**建設課長** ご指摘のとおり非常に危険な状況にあり、安全安心確保のため交差点改良と歩道設置を県に

強く要望しています。予備設計では、延長が270m・片側3・25mの2車線・歩道幅は2・5mです。交差点の右折レーンが3m追加されます。県道いわき浪江線は改良延長が約160m・片側3mの2車線で計画されており、早期着工を強く国県に要

**質問** 最終処分場跡地の水質検査継続を

**質問** 北部衛生センター最終処分場浄化施設、撤去後の水質検査を継続し安全安心を示せ。

**住民生活課長** 広域圏組

**質問** 町道にはみ出している支障木の扱いは

**質問** 町道の支障木管理は。

合は、処分場の廃止を前提に4年間地下水の水質検査を実施しました。その結果基準に適合し5月に廃止の許可を受け9月には解体・撤去をしました。

さらに、高速道建設に伴い年2回の水質検査を実施し住民の不安解消に努めています。

**建設課長** 最近町道に、支障木がはみ出し交通の妨げになっている箇所があります。通常は、所有者に状況説明し除去をお願いしています。

最近では行政区道路愛護会などの団体が中心となり、ボランティアによる作業が行われております。町も住民協働の考えで負担等も考えております。



佐藤 一男 議員

**Q 「景気対策は農業にあり」と考えるが農・商・工が連携し市場開拓に努めます**

**質問** 農業・商業・農業委員会等が連携し、農業大学の生徒の派遣による農業科学を活用しながら、基幹産業である農業を元気にする施策はあるか。

**産業振興課長** 生産の効率化、組織化等によって高付加価値や高収益を実現することが必要です。農業の

基礎知識の習得や新たな作物の技術に関する知識の習得、栽培方法の改善などに取り組み、次世代が学び交流が図れるような地域農業を総合的に研修できる場も必要であると考えています。

**文化センター建設の計画は**

**質問** 文化的知識、教養を高める場所が必要である。文化教育は町づくり、人づくりでもある、若い世代に残すものは人格と文化的財産と考えるが。

**生涯学習課長** 住民の芸術・資質向上の一環として、

**若手職員のプロパー育成に努めよ**

**質問** 町外委託業者を削減し地元業者を優先する、地元企業と若手職員との交流や勉強会等を開催しながら、プロパー育成の考えはあるか。

**町長** 職員の意識改革、資質向上の一環として、

若手職員を選抜し町の活性化に向けた実践的研修を始めたところですが。

斬新的アイデアで行政を執行していく必要があると考え、高度化・多様化する町民のニーズに的確に 대응するために、地域の特性を生かした政策を立案できるプロ意識に溢れた職員の育成に努めます。



山形県高島町文化ホール



田尻 良作 議員

Q 集落営農の推進にどのように取り組むのか

A 浪江町地域担い手アクションサポートチームで支援

赤字経営から黒字経営へ

質問 農業をまもるには集落営農の推進が重要、取組みは。

産業振興課長 集落営農の推進は町の将来の農業を想定した場合、重要な施策と考えています。町では、浪江町地域担い手アクションサポートチームを設置、

集落における農用地利用改善団体の設立を推進しています。現在、7地区9集落の取組みがあります。

質問 個人経営から組織経営への脱却誘導は。

産業振興課長 集落全体が理解し、参加することだと考えています。

話し合いの場を設け、研修会などへの参加誘導を図ることなどが大切です。

質問 営農組織への補助金は。

産業振興課長 県10万円、町20万円の補助金制度があります。

質問 新たな農産物(WCS、飼料米、バイオ米など)の生産導入は。

産業振興課長 生産、流通、加工のコスト面での課題、更に販売の課題があります。

幼稚園児預かり問題

質問 大堀幼稚園、荻野幼稚園の預かり保育は保護者からの強い要望がある。なぜ実現できないのか。

教育総務課長 総合審議会の答申でも、支援策が必要との経過がありました。関係機関との協議を進めます。



佐々木英夫 議員

Q 老後・安心して暮らせる町づくりについて

A 思いやりに満ちた事業を推進したい

質問 (1)1人暮らし老人の不安解消は。

(2)施設入所の考え方は。

(3)低所得者による医療費の不安は。

保険福祉課長 浪江町にとって当然必要な対策であり、思いやりに満ちた事業の推進を図りたい。施設入所の待機者は、オンフル双葉で71名、老人保健施設費布祚では12名があり、今すぐ入れる所はありません。

針 教育長の学校教育方針

質問 教育長の学校教育方針について。

(1)教育現場のあり方と教育長の挑戦。  
(2)学校の役割(学校のしつけ、家庭のしつけ)を質す。  
(3)人づくり教育について。

教育長 学校は子供達が安心して学習に打ち込み、

健康で心豊かに生きる基礎にしたい。

しつけについては、父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するもので、生活のために必要な習慣を身につけさせ、自立心を育成し心身の調和の取れた発達を図るよう努めるものです。

人づくりでは、「社会のために役立つ」を多とする気持を育てること、子供達が自分の良さに気付き、それを伸ばすことに喜びを感じる使命感を持たせたいと思っています。

体育館新設は

質問 体育館新設について。

(1)多目的な体育館にしては、(2)施設は少子化の時代、負担にならないか。  
(3)ハコモノは見直ししてはどうか。

安心して暮らせる町づくり



安心して暮らせる町づくり



小黒 敬三 議員

A Q

財政に優しい浄化槽市町村整備推進事業の進捗状況は

先進地の研修と予算の確保に努めます

### 9月定例会から更に一歩前進

**質問** 9月に答弁を戴いた、PFI手法を使った浄化槽市町村整備推進事業の進捗状況は。

**町長** 新しい事業方式なので、地域の特性や財政比較など資料を集めています。

**上下水道課長** 10月に日本PFI協会の理事長が来庁され、概要説明を受けました。

**質問** 先進地の紫波町では、役場職員の危機意識から立ち上げた事業です。同じ立場ですから研修に行つてはどうか。

**町長** 庁議において、視察を要請しました。  
**上下水道課長** 先進地の研修と予算の確保に努めます。

### 行政区の存在のあり方が今問われている

**質問** 世帯数の変動に起因して、様々な諸問題が起きている。昭和の大合併以来手付かずとなっていた行政区のあり方を、町が主体となつて整理すべきでないか。

**総務課長** 問題点は認識していますが、行政区は任意組織と言いながら、昔からある地縁を基本として発展してきたので、地域で話し合うのが大切です。

ただ、町からの連絡事項だけでなく、それぞれの区では色々な仕事があり、それを明確に位置づけるためには、町の例規に載せ遂行しなければなりません。来年、地域協働まちづくり協議会を立ち上げて、関与のあり方、支援方法を探つてまいります。

区	世帯数	区	世帯数
1	150	5	192
2	63	6	63
3	39	7	72
4	224	8	130

権現堂・1～8区の世帯数



佐藤 文子 議員

A Q

町の観光協会は今のままでいいのか

観光事業の資源の整備充実後、いずれば民間委託も視野に入れて行きたいと考えています

**質問** 現在産業振興課に置いてる観光協会は、観光客にわかりづらく、運営に発展性がないのでは。

**産業振興課長** 観光事業は地域への経済波及効果が高く、交流人口の増大が期待出来ると思います。今後見る観光から交流体験、学習型などの新しい形態のニーズに移行しつつ関係機関、団体等と連携し、資源の開発などに取り組みながら展開していきたいと考えています。

**町長** 今後は民間委託も視野に入れていくことになるかと思えます。

### 福祉バスの運行は

**質問** 福祉バスの運行(特に通院バス)の計画は。

**保険福祉課長** 地域に係る公共交通体系について総合的に検討するため、今後庁舎内会議を立ち上げて検



- 泉田川漁業協同組合  
TEL. 0240-34-5409  
FAX. 0240-34-5409
- 大堀相馬焼協同組合  
TEL. 0240-35-4917  
FAX. 0240-35-4927
- 泉田川観光食堂  
TEL. 0240-34-3233  
FAX. 0240-34-3501
- 浪江町観光協会  
TEL. 0240-34-2111(代)

観光協会のあり方は

### 野放し土地の管理は

**質問** 住宅密集地にある不在者の土地が野放し状態にあるのは、不法投棄や火事の心配がある。夏季の草刈等を行なっていないため冬季に立ち枯れし道路に倒れ、児童生徒の通学路を狭くしているという声があ

ります。町で地権者への管理の勧告をすべきでは。

**総務課長** 地域の防火対策や環境対策を消防団や防犯協会、地域防災組織や青少年健全育成協議会等を通じて協議し、地域の協力を得ながら問題解決に当たつていきたいと思えます。

ます。



「人間らしく働きたい」と願いを込めて



吉田 数博 議員

### Q 双葉広域圏組合の行政財政改革プラン

A 早急に対応を求めていきます

**質問** 双葉地方広域市町村圏組合の歳入歳出は31億円を超え、浪江町負担金も6億3千万円となり、一般会計の約1割となりまして。

郡内町村は厳しい財政運営のなか、行政改革プランを策定し、血のにじむ努力を重ねております。

広域圏では新規、更新事業の計画もあり、益々町村の負担増が懸念されます。

広域圏の管理のあり方を見直す時期である。又、各町村で進めているような行政改革プランが有るのか。長期的な財政計画を示すよう求めます。



馬場 績 議員

### Q 暮らし・雇用・農業支援の緊急対策と相談窓口は

A 各課横断の相談窓口を設置します

**質問** 押し寄せる経済危機のもとで次の緊急支援をどう進めるのか。

- ①「派遣切り」の実態と雇用の継続の対応は。
- ②JAふたばに連動した農業資材高騰対策の助成は。
- ③中小業者向け緊急保証セーフティネット5号の認定相談と町の利子・保証料

支援は。

- ④高齢者・障害者・低所得者生活保護世帯の支援は。
- ⑤身近なところでも影響が出ていますが、不況相談窓口の設置を。

#### 産業振興課長

①今後の雇い止めに懸念されます。町内企業には非正規労働者の雇用確保をお願いしてい

ます。②農家経営に大きな影響が出ており、緊急支援対策の取り組みを関係団体と推進します。③町の支援は考えておりません。

#### 保険福祉課長

④12月5日に原油高騰対策会議を開催、近隣町村を見ながら対策を進めます。

#### 町長

⑤各課横断的な

相談窓口を設けます。

### ハローワーク浪江の存続を

#### 質問

①双葉町、葛尾村議会と連携を取り存続を求めてきた。雇用の安定に関わる施策であり議会との十分な協議をすべきでなかったか。

②今の場所を活用できないか。

#### 産業振興課長

①廃止後のことも考え、10月10日付で地域職業相談室の設置を

において、公職優先の制度を改めながら、早急に規則・基準を検討してまいります。

課長専決で、福島労働局に要望しました。  
**町長** ②現在の場所では使えないのでは、と思っております。

### 地デジ放送・難視聴は解消されるのか

#### 質問

中継局設置とその効果は。サイマル放送の延期申し入れを。  
**企画調整課長** 2010年に津島・葛尾など5局の中継局が開設されないとわからないのが現状です。

### 浪江町表彰条例の見直しをすべき

#### 質問

浪江町表彰条例を時代の趨勢にあつたように改正すべきと考えるが、  
**総務課長** 表彰審査会に



## 6月定例議会において陳情、採択された議員定数削減に関する動向は？

- 6月議会 陳情第10号「浪江町議会議員定数」削減を求める件について  
(賛成多数で採択)
- 6月議会 浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議(案)  
委員数8名 否決
- 9月議会 同上委員会設置について議員発議による動議  
委員数20名 否決
- 12月議会 同上委員会設置について議員発議  
委員数20名 可決

浪江町の人口と議員数の割合 (表1)

(人)

年 区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成20年
人口	23,595	23,515	23,248	22,609	21,618	20,912
法定数	26	26	26	26	26	26
議員定数	24	24	24	22	20	20
議員対人口	983	980	969	1,028	1,081	1,046

他町村の人口と議員数の割合 (表2)

平成20年7月1日現在 (人)

町村 区分	人口	議員数	議員対人口
浪江町	20,912	20	1,046
双葉町	7,171	12	598
大熊町	10,954	14	782
富岡町	15,909	16	994
楢葉町	8,187	14	585
広野町	5,533	12	461
葛尾村	1,625	10	163
川内村	3,125	12	260
川俣村	17,034	16	1,065
三春町	19,194	16	1,200
南会津町	19,864	22	903
矢吹町	18,733	16	1,171



議会報編集特別委員会研修（山形県高島町議会）

議会活動の近況

11月

- 6日 双葉地方町村議会議員研修会(楢葉町)
- 12～13日 議会報編集特別委員会視察研修  
(山形県高島町)  
町村議会広報研修会(郡山市)
- 14日 産業・建設常任委員会
- 17日 広域圏・保健衛生常任委員会
- 18日 広域圏・消防厚生常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 広域圏・総務常任委員会
- 25日 第5回 臨時議会
- 28日 広域圏組合定例議会

12月

- 4日 議会運営委員会
- 9～17日 第6回 定例議会

1月

- 16日 議会報編集特別委員会
- 19日 議会議員定数調査特別委員会  
議会運営委員会
- 20日 広域圏・議会運営委員会
- 23日 議会報編集特別委員会  
議会運営委員会
- 27日 第1回臨時会  
114号拡幅促進特別委員会  
文教・厚生常任委員会

表紙用  
写真募集



「なみえ議会だより」の表紙に掲載する写真を募集します。

◆資格  
町内在住、町内に通勤・通学の個人。

◆テーマ  
町の話題・躍動感(人物)と季節感のあるもの。

◆掲載  
編集委員会で選定。

◆期日  
年4回。  
4・7・10・1月の5日  
締切。

(発行は、5・8・11・2月の1日です。)

◆問い合わせ  
議会事務局

☎0240-3410254

123号  
表紙より

請戸海岸の日の出

写真提供：大泉郁子さん



# 町民の声

## 私のひまわり



門馬 昌子さん  
(権現堂)

浪江町の地方交付税が前年比1億5700万円(19年度決算)減り、町民へのサービス低下、職員と町単独事業の削減を招いているとき。

国政に目を向けると生活に役立たない軍事費は毎年5兆円!これだけあれば国保税を安くし、中学卒業までの医療費無料化、妊婦検診の公費負担を15回まで引き上げ、児童手当を月5万円に、首をきられた派遣の人達への生活支援もできる。町議会を傍聴して政治について学ぶ事は多かつた。町民の生活は国の政治に直結している。これからも町政や国の政治に関心をもっていきたい。

## 「追跡シリーズ」の効果



遠藤 智信さん  
(北幾世橋)

町議会一般質問等の追跡シリーズが掲載され、その後の経過が誰にでも分かるようになりました。今迄時間の経過と共に忘れられた事業の再登上也可能だと思

います。又、住民の議会や行政に対する関心も高まると思います。是非続けて下さい。今後の課題は、住民の興味関心の高いテーマをどう選び出すかでしょう。多忙の議員さんが、調査編集発行されるのですから大変でしょうが、住民の生活に直結する議会行政の決定事項の報告です。多くの住民に読んで貰える様、紙面・内容の改善工夫に努められます様、お願い致します。

## 編集後記

祭りには、神や先祖に、物をそなえて「まつる」ことから始まった。その後、人々の無病息災や五穀豊穡などの願望をかなえるために祭りを実施した。

寒中の今、全国各地に火伏せ祭りや水かけ祭りが数多くある。浪江町にも、町指定の無形民俗文化財に指定されている、火防祈禱祭「裸参り」が行われる。江戸時代後期の大火後に、年間の無火災を祈る行事だ。火災を始めとする災害は痛ましい。防火や防災ということがいかに大事なことを常に心がけるべきだ。地域の力は防災力でもある。

また、昨今、少子化に伴う地域の若者人口の低下はこれらの祭りを維持する担い手の減少として現われている。そして伝統民族芸能を継承するための課題となっている。

全国的にも珍しい祭である「裸参り」。今年は2月2日(旧正月8日)に開催される。(記・横山 精一)

- 議長 山本 幸男
- 委員長 馬場 績
- 副委員長 紺野 榮重
- 委員 佐藤 一男
- 委員 横山 精一
- 委員 勝山 一美
- 委員 渡部 貞信

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。